

学ぶ力、かかわる力、高める力を育てる「かしわ学習」

秋田県秋田市立川尻小学校

秋田県秋田市川尻みよし町8番31号

電話番号：018-824-23747

E-mail:kws-es@edu.city.akita.akita.jp HP アドレス：http://www.edu.city.akita.akita.jp/~kws-s/

学校や地域に関する情報

(1) 学校規模

児童数 510 名、教職員数 37 名、
学級数 単式 16 学級 特別支援 2 学級

(2) 学校の教育活動の特色

本校教育の柱は、地域・家庭・学校が一体となって児童たちの健やかな育ちを支える絆づくりである。

児童たちは、積極的に地域を学習の場として活用している。地域の方は、ふるさと先生や読み聞かせ、交通安全のボランティアとして、毎日のように学校に足を運んでくれている。

(3) 地域の特色

川尻地区は、秋田市の中央部に位置し、官庁街に隣接している。総社の杜を中心に、酒田街道や雄物川が交わる物流の中心として、古くから栄えてきた歴史ある地域である。

I 総合的な学習の時間の全体計画

1. 目標

身近な生活や体験をもとにした学習を展開することにより、児童たちが探究的に学ぶことができ、自ら学びを創造する力を育てることができる。また、地域の「ひと・もの・こと」を活用することにより、進んで他とかかわる力や学んだことを生かす力を育てることができる。それらの力をはぐくみ、よりよく生きようとする態度を育てたい。

2. 育てようとする資質や能力及び態度

かしわ学習で育てたい力を、「学ぶ力」「かかわる力」「高める力」とした。「学ぶ力」は、探究的な学びを支えるための学び方に関するものである。「かかわる力」は、協同的に学んだり地域の「ひと・もの・こと」とかかわったりすることで育てられる力と考える。「高める力」は、学んだことを生活や生き方に生かす力である。これらの力は一朝一夕に育てられるものではなく、2年のスパンで段階を追って育てたいと考えた。3・4年生では、かしわ学習の学び方を身に付けることを、5・6年生では自ら学びを創造していくことを意識して設定した。

3. 内容

学習内容は、学年の発達段階や系統、各教科等との関連を考えて設定した。児童たちの実態に応じて単元づくりができるよう、学習事項や対象は大まかな記述にしている。3年生は地域、4年生は環境、5年生はいのち、6年生は人をキーワードにし、詳しい内容は、年度始めに児童たちの意向をとらえて各学年部で設定することになっている。

4. その他の特色

児童たちが身に付けた力の習熟・活用を図るため、各教科等と関連する主な資質・能力を記載している。また、全教職員が共通理解のもと指導にあたることができるよう、指導方法や評価についてふれている。

<全体計画>

平成22年度 かしわ学習（総合的な学習の時間）全体計画

秋田市立川尻小学校

<p>子どもの実態 ○明るく素直だが、自ら進んで身近な「ひと・もの・こと」にかかわろうとする子どもは少ない。 ○まじめに学習に取り組むが、学習したことを自分の生活や生き方に生かすところまでは至っていない。</p>	<p>学校教育目標と重点 ともに かがやく 子ども ～豊かな心・確かな知・強い体～ (1) 学ぶ楽しさを味わう学習指導 (2) 思いやりの心と正しい判断力を育てる生徒指導 (3) 命を大切にし、健康な心身を育む健康安全指導 (4) 家庭・地域社会と連携したふるさと教育</p>	<p>地域の実態 ○県庁や市役所、公共施設や商業施設が集まる秋田市の中心に位置し、酒田街道や雄物川が交わる物流の中心として古くから栄えた地域である。 ○「ふるさと先生」をはじめ、地域が学校教育に協力的である。</p>
<p>保護者・地域の人の願い ○学習内容をしっかり理解してほしい。 ○はじめがあり、やさしい子どもになってほしい。 ○地域の行事を大切にしてほしい。</p>	<p>かしわ学習の目標 身近な生活や体験をもとにした学習を通して、自ら学ぶ力を育て、「ひと・もの・こと」と進んでかかわり、よりよく生きようとする態度を育てる。</p>	<p>教師の願い ○身の回りの人や自然などに進んでかかわり、たくさんのことを学んでほしい。 ○学んだことを自分の生活に生かしてほしい。</p>

かしわ学習で育てたい力	3・4年	5・6年
	<p>学ぶ力 ○体験したり調べたりして気付いたことや疑問に思ったことをもとに課題を設定する。 ○目的に合わせて情報を収集し、比較したり関連付けたりしながら考える。 [取材]・見学, 体験 ・インタビュー ・図, 写真 [調査]・観察, 実験 ・本, 図鑑, インターネット ○目的や相手を考えながら、伝えたいことを表現する。 [相手]・家族, 友達, 全校, 地域の人 [方法]・作文 ・体験記 ・本 ・新聞 ・壁新聞 ・ポスター ・パンフレット [場] ・シンポジウム ・ワークショップ など</p>	<p>○自分の興味・関心や、体験したり調べたりして考えたことをもとに課題を設定し、見通しをもって学習の計画を立てる。 ○対象や目的を考えて情報を収集し、整理・分析して考える。 [取材]・見学, 体験 ・インタビュー ・図, 写真, 動画 [調査]・観察, 実験 ・資料, 統計, インターネット ○目的や相手に合わせ、方法や工夫を考えながら、伝えたいことを表現する。 [相手]・家族, 友達, 全校, 地域の人, 日本や世界の人 [方法]・レポート ・論文 ・自分史 ・ホームページ ・プレゼンテーション ・リーフレット ・番組 [場] ・討論会 ・パネルディスカッション など</p>
	<p>かかわる力 ○身の回りの「ひと・もの・こと」に進んでかかわる。 ○相手の立場や気持ちを考え、協力して活動する。</p>	<p>○対象の価値を認めながら、身の回りの「ひと・もの・こと」に進んでかかわる。 ○相手の考えや気持ちを共感的に受け止めながら、協力して活動する。</p>
<p>高める力 ○自分や友達の成長やよさに気付く。 ○学んだことを自分の生活と結び付けて考え、実践しようとする。</p>	<p>○自分や友達の成長やよさ、可能性に気付く。 ○学んだことを自分の将来や生き方と結び付けて考え、実践しようとする。</p>	

各学年の内容	3年	4年	5年	6年
学習事項	地域についての理解を深め、地域のよさを考える。	環境問題についての理解を深め、自分でできることを考える。	いのちの大切さや、安全で健康な生き方について考える。	地域・社会の人の思いに気付く、自分の将来や生き方を考える。
学習対象	○地域の施設や自然 ○地域の伝統や文化を守る人々 ○商店街の活性化に向けて努力する人々と地域社会 など	○身近な自然環境とそこに起きている環境問題 ○環境を守るための活動に取り組んでいる人々 など	○地域の福祉施設 ○食に携わる施設 ○生命の神秘、不思議、素晴らしさ など	○町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織 ○将来への展望とのかかわりで訪ねてみたい人や機関 など

<p>学習活動 ○単元は学年で開発し、展開に応じて学習形態を工夫する。 ○学年ごとに1年間1テーマでの取組を基本とする。</p>	<p>指導方法 ○探究的な学習の連続性を意識し、学び合いの充実を図る。 ○各教科・領域との関連を図った指導の工夫に努める。</p>	<p>指導体制 ○全教職員による指導・支援体制の確立と連絡調整に努める。 ○ふるさと先生をはじめとする地域の人材を効果的に活用する。</p>	<p>学習の評価 ○個人内評価を重視し、指導と評価の一体化に努める。 ○ポートフォリオを作成し、評価の充実を図る。</p>
---	--	---	--

各教科・領域と関連する主な資質・能力	国語科	社会科	算数科	理科	生活科	音楽科
	○相手、目的、場面などに応じて適切に話したり書いたりする力 ○読んだり聞いたりして正確に理解する力 ○言語を手掛かりとしながら論理的に思考する力	○身近な地域を観察、調査する力 ○地図や統計などの資料を活用する力 ○社会的現象を関連付けたり比較したりして考える力 ○調べたことや考えたことを表現する力	○数、式、図、表、グラフなどを用いる力 ○数量や図形の意味をとらえる力 ○見通しをもって筋道を立てて考えたり表現したりする力	○自然に親しみ、問題を見出す力 ○見通しをもって観察・実験する力 ○自然の事物・現象を比較したり関連付けたりして調べる力 ○観察・実験の結果を整理し科学的に考える力	○身近な人々、社会、自然とかかわる力 ○自分自身や自分の生活について新たな気づきをする力 ○生活上必要な習慣や技能	○音楽によって養われる感性や情操 ○感じたことを声や楽器で表現する力
	図画工作科	家庭科	体育科	道徳	外国語活動	特別活動
	○図画工作科で養われる感性や情操 ○つくりだす喜び ○形や色、材料などから発想する力 ○材料や用具を用いる力	○日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能 ○家庭生活をよりよくしようと工夫する力と実践的な態度	○健康で安全な生活を営む実践力 ○楽しく明るい生活を営もうとする態度 ○たくましい心身	○思いやり ○協力し助け合う心 ○感謝 ○進んで活動する心 ○責任感 ○奉仕の心 ○礼儀	○異なる言語や文化を理解する力 ○積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度	○自己の役割や責任を果たす態度 ○多様な他者と互いのよさを認め合って協力する態度 ○目標の達成を目指す実践的な態度

第5章

II 総合的な学習の時間の実践事例

第4学年 「大切にしよう！みんなの地球」

1. 年間指導計画

本年間指導計画の上部に、単元名、単元のねらい、育てたい力を明記する。児童たちの思考の流れを予想して作成した単元計画をもとに、学習活動を左端、その右側に、各教科の単元名、道徳や学級活動の主題名、学校行事を記載する。

そして、かしわ学習の学習活動と、学習内容の面で関連しているものは実線の矢印で、資質・能力の面で関連しているものは点線の矢印で結ぶ。こうすることで、教育課程におけるかしわ学習の位置付けや各教科等との関連がとらえやすくなった。

この年間指導計画を年度始めに作成すること

単元名	大切にしよう！みんなの地球（総時数70時間）	育てたい力	学ぶ力	高められる力	かかわる力	（教科・領域との関係）	学習内容	資質・能力			
単元名	大切にしよう！みんなの地球（総時数70時間）	育てたい力	学ぶ力	高められる力	かかわる力	（教科・領域との関係）	学習内容	資質・能力			
単元のねらい	秋田運河を見つめることをきっかけとして身近な環境問題に目を向け、課題を学んだら自分たちができていることを考えて生活に生かすことができる。	学ぶ力	身近な川や環境問題について関心をもち、課題を見つけ、課題の解決に適した方法を考え、情報を収集し、比較したり関連付けたりしながら考えることができる。	高められる力	友達と意見交換しながら学び、分かったことをまとめたり発信したりすることができる。	かかわる力	互いに協力しながら学び、自分ができることを考えて生活に生かすことができる。				
月	おしわ (70)	国語 (245)	社会 (90)	算数 (175)	理科 (105)	音楽 (60)	図工 (60)	体育 (105)	道徳 (35)	学芸 (35)	学校行事等
4	つづけてみよう (1)	大きな数 (7)	大きな数 (7)	あたたくなく (5)	あたたくなく (5)	あたたくなく (5)	あたたくなく (5)	あたたくなく (5)	あたたくなく (5)	あたたくなく (5)	秋田運河を見つめる (1)
5	秋田運河を見つめる (2)	秋田運河を見つめる (2)	秋田運河を見つめる (2)	秋田運河を見つめる (2)	秋田運河を見つめる (2)	秋田運河を見つめる (2)	秋田運河を見つめる (2)	秋田運河を見つめる (2)	秋田運河を見つめる (2)	秋田運河を見つめる (2)	秋田運河を見つめる (2)
6	秋田運河を見つめる (3)	秋田運河を見つめる (3)	秋田運河を見つめる (3)	秋田運河を見つめる (3)	秋田運河を見つめる (3)	秋田運河を見つめる (3)	秋田運河を見つめる (3)	秋田運河を見つめる (3)	秋田運河を見つめる (3)	秋田運河を見つめる (3)	秋田運河を見つめる (3)
7	秋田運河を見つめる (4)	秋田運河を見つめる (4)	秋田運河を見つめる (4)	秋田運河を見つめる (4)	秋田運河を見つめる (4)	秋田運河を見つめる (4)	秋田運河を見つめる (4)	秋田運河を見つめる (4)	秋田運河を見つめる (4)	秋田運河を見つめる (4)	秋田運河を見つめる (4)
8	秋田運河を見つめる (5)	秋田運河を見つめる (5)	秋田運河を見つめる (5)	秋田運河を見つめる (5)	秋田運河を見つめる (5)	秋田運河を見つめる (5)	秋田運河を見つめる (5)	秋田運河を見つめる (5)	秋田運河を見つめる (5)	秋田運河を見つめる (5)	秋田運河を見つめる (5)
9	秋田運河を見つめる (6)	秋田運河を見つめる (6)	秋田運河を見つめる (6)	秋田運河を見つめる (6)	秋田運河を見つめる (6)	秋田運河を見つめる (6)	秋田運河を見つめる (6)	秋田運河を見つめる (6)	秋田運河を見つめる (6)	秋田運河を見つめる (6)	秋田運河を見つめる (6)
10	秋田運河を見つめる (7)	秋田運河を見つめる (7)	秋田運河を見つめる (7)	秋田運河を見つめる (7)	秋田運河を見つめる (7)	秋田運河を見つめる (7)	秋田運河を見つめる (7)	秋田運河を見つめる (7)	秋田運河を見つめる (7)	秋田運河を見つめる (7)	秋田運河を見つめる (7)
11	秋田運河を見つめる (8)	秋田運河を見つめる (8)	秋田運河を見つめる (8)	秋田運河を見つめる (8)	秋田運河を見つめる (8)	秋田運河を見つめる (8)	秋田運河を見つめる (8)	秋田運河を見つめる (8)	秋田運河を見つめる (8)	秋田運河を見つめる (8)	秋田運河を見つめる (8)
12	秋田運河を見つめる (9)	秋田運河を見つめる (9)	秋田運河を見つめる (9)	秋田運河を見つめる (9)	秋田運河を見つめる (9)	秋田運河を見つめる (9)	秋田運河を見つめる (9)	秋田運河を見つめる (9)	秋田運河を見つめる (9)	秋田運河を見つめる (9)	秋田運河を見つめる (9)
1	秋田運河を見つめる (10)	秋田運河を見つめる (10)	秋田運河を見つめる (10)	秋田運河を見つめる (10)	秋田運河を見つめる (10)	秋田運河を見つめる (10)	秋田運河を見つめる (10)	秋田運河を見つめる (10)	秋田運河を見つめる (10)	秋田運河を見つめる (10)	秋田運河を見つめる (10)
2	秋田運河を見つめる (11)	秋田運河を見つめる (11)	秋田運河を見つめる (11)	秋田運河を見つめる (11)	秋田運河を見つめる (11)	秋田運河を見つめる (11)	秋田運河を見つめる (11)	秋田運河を見つめる (11)	秋田運河を見つめる (11)	秋田運河を見つめる (11)	秋田運河を見つめる (11)
3	秋田運河を見つめる (12)	秋田運河を見つめる (12)	秋田運河を見つめる (12)	秋田運河を見つめる (12)	秋田運河を見つめる (12)	秋田運河を見つめる (12)	秋田運河を見つめる (12)	秋田運河を見つめる (12)	秋田運河を見つめる (12)	秋田運河を見つめる (12)	秋田運河を見つめる (12)

で、1年間の見通しをもって指導にあたることができる。

2. 単元計画

(1) 単元設定の理由

秋田運河は、もともとは秋田県を流れる一級河川で校歌にも歌われている雄物川の本流であり、歴史的に地域住民の生活と結び付きが強い。現在でも「新川」と呼ばれ、地域の人々に親しまれている。地域探検をして児童たちの関心が高かった秋田運河を学習のきっかけにすることで、児童たちの意欲を喚起したい。そして、環境問題の視点から自分の生活を見つめ、自分にできることを考え、実践してみることは、児童たちにとって価値のある学びができると考えた。

地域の自然を愛する心が、地球の環境を大切に

にしたいという願いにつながり、学んだことを自分の生活に生かそうとする姿に現れることを期待して単元を設定した。

(2) 単元の目標

秋田運河を見つめることをきっかけとして身近な環境問題に目を向け、環境を守るために自分たちができていることを考えて生活に生かすことができる。

(3) 単元の評価規準

- 身近な川や環境問題について関心をもち、課題を見付け、課題の解決に適した方法を考え、情報を収集し、比較したり関連付けたりしながら考えている。【学ぶ力】
- 友達と意見を交換しながら学び、分かったことをまとめたり発信したりしている。【かかわる力】
- 自分のがんばりや成長に気付き、自分にできることを考えて生活に生かしている。【高められる力】

単元計画 大切にしよう！みんなの地球（総時数 70 時間）

（全…学年 学…学級 グ…グループ 個…個人）

予想される子どもの思考の流れ	主な学習活動（時数）	形態	教師の支援	育てたい力（評価規準）			各教科・領域との関連 ○…学習内容 ☆…資質・能力
				学ぶ力	かかわる力	高める力	
<p>地域を探検してみよう。</p> <p>↓</p> <p>学校の近くに川があったぞ。ごみがたくさんあったぞ！魚がいたぞ！</p> <p>↓</p> <p>秋田運河はきれいなのか？きたないのか？調べてみよう。</p> <p>↓</p> <p>秋田運河がきれいなのか、きたないのか分かったぞ！</p> <p>↓</p> <p>発表会をしたいな。</p> <p>↓</p> <p>秋田運河の問題が分かったぞ！秋田運河の環境を大切にしていきたいな。</p> <p>↓</p> <p>今度は地球全体のことを考えてみたいな。</p> <p>↓</p> <p>地球温暖化が話題だぞ。地球温暖化って何だろう？</p> <p>↓</p> <p>地球温暖化について分かった！防ぐ方法を考えてやってみよう。</p> <p>↓</p> <p>簡単にできたぞ！みんなにも呼びかけよう！</p> <p>↓</p> <p>みんなやってくれたかな？どう考えたかな？アンケートをとってみよう。</p> <p>↓</p> <p>やってくれてうれしいな。アドバイスをもらったぞ。もっといい方法を考えよう。これからも続けていこう！</p> <p>↓</p> <p>成長したな。考え方が変わったな。</p>	<p>地域探検に行く（2）</p> <p>学年テーマや自分の課題を決めよう（8）</p> <p>秋田運河について調べよう（10）</p> <p>調べたことをまとめよう（8）</p> <p>秋田運河の環境について話合おう（1）</p> <p>考えたことをまとめよう（4）</p> <p>新しい課題を決めよう（2）</p> <p>地球温暖化について知ろう（3）</p> <p>地球温暖化を防ぐ取り組みを考えよう（8）</p> <p>地球温暖化を防ぐ取り組みを実行しよう（4・課外）</p> <p>みんなに呼びかけよう（8）</p> <p>これからの自分について考えよう（6・課外）</p> <p>自分の成長を確かめよう（6）</p>	<p>全個</p> <p>グ</p> <p>全個</p> <p>全</p> <p>学 個 グ 全</p> <p>学 個 グ</p> <p>全 学 個</p>	<p>・子どもたちの関心が環境に向くよう、地域探検では環境に関与する子どもも積極的に取り上げる。</p> <p>・学習の見通しをもつことができよう、学年テーマや課題を子どもと話し合う。</p> <p>・一人一人の課題に沿うことができるよう、グループ活動を取り入れ、TTによる支援を行う。</p> <p>・自分の生活と結び付けて考えきることができると、秋田運河の環境について話し合える。</p> <p>・子どもたちの全視点に広がるよう、学年テーマを想起させるなどの働きかけを行う。</p> <p>・地球温暖化が身近な問題であることをとらえることができるよう、秋田市環境企画課の方をゲストティーチャーとして招く。</p> <p>・考えた取り組みが実践に結び付くよう、「楽しく・無理なく・できることから」「省エネ・節約」などの視点を与える。</p> <p>・呼びかける意欲につながるよう、考えた取り組みを学校や家庭で実践する時間を保障する。</p> <p>・子どもの思考を深めるため、アンケートを実施して多様な意見を集め、提示する。</p> <p>・自分のがんばりや成長に気がつくことができよう、蓄積してきたシート整理や資料を取り入れる。</p>	<p>・地域探検を通して気付いたことや疑問に思ったこと、考えたことなどを、自分の課題を設定することができる。</p> <p>・自分の課題に合わせて情報を収集し、分かったことや考えを分かちあえることができる。</p> <p>・これまでの学習をもとに地球の環境に関心をもち新たな課題を設定することができる。</p> <p>・地球温暖化を防ぐための方法を身近な生活と結び付けて考えることができる。</p> <p>・地球温暖化を防ぐために自分たちができることを友達と協力して実践することができる。</p> <p>・地球温暖化に対する多様な考えをもとに自分の考えや意見をもつことができる。</p> <p>・地球温暖化に対する様々な考えを共感的に受け止めることができる。</p>	<p>・秋田運河に対する愛着や誇りなどをもつことができる。</p> <p>・秋田運河の環境について考えたことをもとに、自分ができることを実践しようとしている。</p> <p>・秋田運河の環境について考えたことをもとに、自分ができることを実践しようとしている。</p> <p>・地球温暖化を防ぐためにできることを友達と協力して実践することができる。</p> <p>・地球温暖化に対する様々な考えを共感的に受け止めることができる。</p> <p>・自分のがんばりや成長に気が付き、自分のこれから生かそうとしている。</p>	<p>○（社会）のみ水をつくるごみはどこへ</p> <p>○校外学習</p> <p>☆（国語）伝えたいことをはっきりさせて書く</p> <p>☆（算数）折れ線グラフをよんだり書いたりする</p> <p>☆（算数）表にまとめたりよんだりする</p> <p>☆（理科）研究の仕方やまとめ方が分かる</p> <p>☆（国語）調べて分かったことを筋道を立てて発表する</p> <p>☆（道徳）自然を大切にする心</p> <p>☆（道徳）地域を誇りに思う心</p> <p>○（理科）もののあたままり方</p> <p>○（学活）冬休みの過ごし方を考えよう</p> <p>冬休みの過ごし方をふり返ろう</p> <p>☆（国語）伝えたいことを選んで話す</p> <p>☆（国語）調べたことを分かりやすく伝える</p> <p>☆（算数）グラフをよんで変わり方をとらえる</p>	

第5章

3. 学習活動の実際

(1) 単元のテーマ、学習課題の設定

学年全員で地域探検をし、学校の近くを流れる秋田運河に行った。児童たちは、秋田運河の自然環境や生き物に興味をもった。

地域探検をして気付いたことや疑問に思ったことを出し合った。それをみんなで整理・分類し、単元のテーマについて話し合った。「秋田運河はきれいなのか？きたないのか？」という疑問をもとに、秋田運河の環境について調べる学習をスタートすることになった。また、最終的には地球全体の環境について考えたいと思っていることを確認し、みんなで話し合っ、学年テーマを「大切にしよう！みんなの地球」に決めた。



(2) 秋田運河の環境について調べる活動

一人一人が、「秋田運河はきれいなのか？きたないのか？」という疑問に対する自分の予想を立てた。その予想をもとに、「秋田運河に住む生き物」「秋田運河の水質」「秋田運河のごみ」「昔と今を比べよう」「上流と比べよう」というグループに分かれ、予想を検証していく形で学習を進めた。

河川事務所や淡水魚研究会、地域の方などにインタビューする、水質検査をする、上流の水を汲んできて比較するなど、自分たちの予想に合った方法を考え、調べ学習を進めた。

調べて分かったことや考えたことを、理科の実験・観察のまとめ方を参考にしながら、グループごとに模造紙にまとめた。

(3) 秋田運河の環境シンポジウム

「調べて分かったことを発表し合いたい」という児童たちの思いをもとに、秋田運河の環境について話し合う場を設けた。各グループの発表をもとに、秋田運河の環境について意見交換を行い、一人一人が「秋田運河はきれいなのか？きたないのか？」という疑問に対する結論をもった。

その結論を発表し合い、秋田運河の環境の問題点は、「水質はきれいだがごみが多い」ことを確認し、自分の考えをまとめた。同じ情報でも、人によって受け取り方や考え方が違うことに気付き、「お互いの考えを尊重し合いたい」という思いをもつ児童の姿も見られた。



(4) 新しい課題の設定

秋田運河の環境についてのまとめから児童たちは、「地球の環境では何が問題なのだろうか？」という疑問をもった。そこで、はじめの自分たちの思いに立ち返り、次は地球の環境について学習していくことを確認した。地球環境の問題について学年全体で話し合っていく中で児童たちは、地球温暖化について関心をもった。

「知りたいことは詳しい人に聞くことが何よりだ」という児童たちの思いから、秋田市環境企画課の方を招いて、地球温暖化の仕組みや秋田市で見られる影響について聞いた。そのときに、地球温暖化を防ぐキーワードは、「楽しく・無理なく・できることから」「省エネ・節約」だと教えてもらった。

(5) 地球温暖化を防ぐ取り組みの実践

地球温暖化は、自分たちの生活にも影響があることを知り、「地球温暖化を防ぎたい」という切実な思いをもった子どもたちは、「省エネ・節約」「楽しく・無理なく・できることから」というキーワードをもとに、自分たちにできる取り組みを考えた。それを、グループごとに実践した。冬休みには、家庭でできることを考えて実践した。

「自分たちの考えた取り組みは簡単にできる」と自信をもった児童たちは、「全校のみんなにも呼びかけたい」という願いをもった。そして、おすすめの取り組みをまとめたポスターを教室に掲示してもらったり昼の放送で呼びかけたりした。

「自分たちが考えた取り組みはよかったのか」、「全校の人が本当に取り組んでくれたのか」を知りたいという児童たちの思いを生かし、自分たちの実践を客観的に分析させるために、高学年と先生方を対象にアンケートを行った。

そのアンケートの結果から、児童たちは、自分たちが考えた取り組みのよさを確認したり、取り組んでもらえなかった理由を考えたりした。そして、「取り組んでくれなかった人が取り組んでくれるようにしたい」「もっと大勢に協力して

ほしい」という思いをもった児童たちは、自分たちの取り組みを改善したり呼びかけ方の工夫を考えたりした。

そして、自分たちが呼びかけたいことをリーフレットにまとめ、全校に配布した。地域のコミュニティセンターにも置いてもらった。



(6) 単元のまとめ

単元のまとめとして、蓄積してきた学習シートや資料を整理しながら、1年間の自分の学びをマップに表した。

「環境にあまり興味がなかった。」自分が、「地球温暖化を防ごう」という気持ちをはるかに高まった。このままずっと続けて少しでも地球温暖化を防げたらいい。」と変わったことに気付くなど、児童たち自身が、自分の成長や思考の変化をとらえることができた。

